
南さんと大竹さん

ゆとり少女

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

南さんと大竹さん

【Nコード】

N74900

【作者名】

ゆとり少女

【あらすじ】

南さんは作詞家になろうと大竹さんと山に出かける。

南さんは詩を作り、出来たのが残念な詩。

(前書き)

お年寄りをメインとした作品です。
嫌いな人は見ないでくださいね。

南さんはある日作詞家になろうと山に出かけました。

奥深くにある美しい川を目指すため、南さんは一人で行きました。でも、南さんは61歳という年齢であつたために体力はあまりありませんでした。

そんな南さんはある提案を思いつきました。

「助手を呼ぼう！」

今頃、気づいたのかと思いますが、南さんは61歳であるため、物忘れが多いのです。

南さんは助手の大竹さん呼びました。

大竹さんは41歳という若さであるため話は合いませんでした。

「なあ、大竹さんよ。」

「なんだい？南さん？」

「なんで、こんなところに大竹さんがいるんじゃない？」

「・・・はい？」

「なんで、こんなところに大竹さんがいるんじゃない？」

「はいつ!？」

所謂、南さんはバカでした。

山の頂上に着いた大竹さんと南さんは休憩しました。
あたり一面雲ばかりでした。
南さんは詩を作りました。

「山、それは生命の宿る場所

山は人にも動物にも愛され

そして緑にも愛された憩いの場

誰もが知り、山に願いを託す

ああ、私は長生きできますか

出来ないなら、あなた様の力をください」

大竹さんは南さんの詩を見て頭を掻いた。

意味が分からないからだ。

最後は南さんの気持ちが表されている気持ち悪い詩だった。

大竹さんと南さんは滝に行きました。

奥深くにある川の滝と気づいた大竹さんは南さんに言おうとしたのですが、南さんは詩を書いていました。

「南さん、川はもうすぐですよ。」

「これを書いてからにしてくれないか？大竹さんよ。」

「はぁ……。」

南さんは書くスピードが遅いため、大竹さんは30分待たされました。

ようやく完成した南さんの詩はあまりにも残念な詩でした。

「水の打つ音は私の気持ちを落ち着かせる

それは、滝が奏でる水の音であろう

私も滝が奏でる水の音を歌うと

心も安らいで来た気がした

私は滝の音より君の本音が聞きたい

それを知りたい私がいいた」

山の詩より意味が分からなかった。

滝の本音を聞いても水の音だし、滝自体、音を奏でないからだ。
川ならまだ分かる。

でも、滝だからこそ意味が分からないのである。

南さんは川に行きたかったため、大竹さんより早く歩きました。
大竹さんは心配しました。

「南さん、そんなに急いで大丈夫ですか？」

「年寄りをバカにするんじゃない！」

南さんは普段より早く歩きましたが、次第に遅くなりました。どうやら、南さんは疲れたようです。南さんは言いました。

「わしを担いでくれ。」

「はあっ!？」

大竹さんは南さんを担ぐことになりました。奥深くの川に着きました。

大竹さんは南さんを担いだので疲れていました。次こそは・・・とマシな詩を作ってくれるかと思いきや、また残念な詩でした。

「川のせせらぎを

そして、母の子守唄を

鳥の囀りを

山のこだまを

全部のメロディーを合わせてみれば

私の本音となるだろう」

滝と山の詩よりも遥かに意味が分からなかった。

大竹さんは思いました。

もう一生南さんと山に登りたくないな・・・。

おわり。

オマケ

大竹さんの詩

「重い荷物

滲んだ涙

吹き出る汗は努力の数

一歩一歩何かを見て

何かを知り

何かを愛せる

そういう人間になるまでは

小さな小石に躓くだろう」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7490o/>

南さんと大竹さん

2010年11月6日21時12分発行